

表 4-1 警視庁編『大正大震災火災誌』が記載する流言の事例

1日	13時頃 ・富士山に大爆発、今なお噴火中。 ・東京湾に猛烈な海嘯襲来する。 ・更に大地震が来襲する。 15時頃 ・社会主義者と朝鮮人の放火多し。
2日	10時頃 ・「不逞朝鮮人」の来襲あるべし。 ・昨夜の火災は「不逞朝鮮人」の放火または爆弾の投擲。 ・朝鮮人中の暴徒が某神社に潜伏。 ・大本教徒密謀を企て数千名が上京の途上。 14時頃 ・市ヶ谷刑務所の解放囚人が都部に潜伏、夜に放火の企て。 ・朝鮮人約200名神奈川で殺傷、略奪、放火。東京方面に襲来する。 ・朝鮮人約3000名多摩川を涉って来襲、住民と闘争中。 ・横浜の大火は朝鮮人の放火。略奪、婦女暴行、焼殺。青年団や在郷軍人団が警察と協力して防止。 ・横浜方面より朝鮮人数十名ないし数百名、上京の途上。 ・横浜方面より襲来の朝鮮人約2000名、銃砲刀剣を携帯し、すでに六郷の鉄橋を渡る。 ・軍隊は六郷河畔に機関銃を備え、朝鮮人の上京を遮断せんとし、在郷軍人や青年団が応援。 ・六郷河原で軍隊に阻止された朝鮮人は、転じて矢口方面に向かった。 15時頃 ・雑司ヶ谷の〇〇〇〇は向原〇〇〇〇方へ放火しようとし、現場で民衆により逮捕された。 16時頃 ・大塚火庫襲撃目的の朝鮮人、いままにその付近に密集せんとする。 ・朝鮮人原町田に来襲し、青年団と闘争中。 ・原町田来襲の朝鮮人200名は、相原片倉村を襲し、農家を掠め婦女殺害。 ・朝鮮人2-300名横浜方面より溝の口に入って放火、多摩川二子の渡しを越え、多摩河原に進撃中。 ・朝鮮人目黒火庫を襲う。 ・朝鮮人鶴見方面で婦女を殺害。 17時頃 ・朝鮮人110余名寺島署管内四ツ木横付付近に集まり、海嘯来ると連呼しつつ凶器で暴行、あるいは放火する者あり。 ・戸塚方面より多数民衆に追跡された朝鮮人某は、大塚電車終点付近の井戸に毒薬を投入。 18時頃 ・朝鮮人予てより暴動の計画ありしが、震災の突発で予定を変更、用意の爆弾および劇薬物を流用し、帝都全滅を期す。井戸水を飲み、菓子を食べるは危険。 ・上野積善軒前の井戸水の変色は毒薬のため。上野公園下の井戸水にも異状。博物館の池水も変色して金魚全滅。 ・上野広小路松坂屋に爆弾2個を投じた朝鮮人2名を逮捕したが、その所持の2枚の紙幣は社会主義者より得たものだった。 ・上野駅の焼失は朝鮮人2名がビール瓶に容れた石油を注いで放火した結果。 ・朝鮮人約200名、品川署管内仙台坂に襲来し、白刃をかざして掠奪を行い、自警団と闘争中。 ・朝鮮人約200名、中野署管内雑色方面より代々木に進撃中。 ・代々木上原方面において朝鮮人約60名が暴動。 19時頃 ・朝鮮人数百名、亀戸署管内にちん入し暴行中。 ・朝鮮人40名、八王子管内七生村より大和田様に来襲、青年団と闘争中で銃声しきりに聞こえる。
3日	01時頃 ・朝鮮人約200名、本所向島方面より大日本紡績株式会社および墨田駅を襲撃。 04時頃 ・朝鮮人数百名、本郷湯島方面より上野公園に来襲するので、谷中方面に避難せよ。荷物などは持ち去る必要なく、後日富豪より分配する。 10時頃 ・兵士約30名、朝鮮人暴動鎮圧のため月島に赴いた。